

研究活動一覧

「研究活動一覧」は当所研究員の研究活動と研究内容や関心分野を読者の皆様にタイム リーに提供することを目的としています。研究内容の詳細につきましては直接担当研究員 までお問い合わせ下さい。

【研究論文および雑誌記事等】

研究員名	表題	発表誌,巻・号	発表年月
相川良彦	報告書の章別構成と論点	人口移住・地域再生方策と農の教育 及び福祉機能(ライフスタイルプロ ジェクト研究資料 1)	2004. 1
明石光一郎	資源制約下におけるオーストラリア農業の 成長過程 マクロ国際比較計量分析	資源制約下における世界主要国の農 業問題(世界食料需給プロジェクト 研究資料 4)	2004. 3
足立恭一郎	(書評)藤井絢子ほか編著『菜の花エコ革命』	土と健康 360	2004. 3
市田知子	EU 条件不利地域における農政展開 ドイツを中心に	農林水産政策研究叢書 5	2004. 3
井上荘太朗	アジアにおける市場統合と米需給の長期展 望	国際食料需給の計量分析と資源制約 問題(世界食料需給プロジェクト研 究資料 3)	2004. 3
井上荘太朗・上林 篤 幸 ・ 明 石 光 一 郎・鬼木俊次	国際農産物需給モデルへの資源制約条件の 導入 資源制約パイロットモデルの開発と 利用	国際食料需給の計量分析と資源制約 問題(世界食料需給プロジェクト研 究資料 3)	2004. 3
上林篤幸	環境・資源制約要因としての世界の土壌および水資源 世界食料需給予測の準備としての概観	国際食料需給の計量分析と資源制約 問題(世界食料需給プロジェクト研 究資料 3)	2004. 3
上林篤幸・ 井上荘太朗	資源制約下における国際穀物需給パイロットモデル 資源制約パイロットモデル	国際食料需給の計量分析と資源制約 問題(世界食料需給プロジェクト研 究資料 3)	2004. 3
岡江恭史	ベトナム農業の発展と制約要因	資源制約下における世界主要国の農 業問題(世界食料需給プロジェクト 研究資料 4)	2004. 3
"	ベトナム農村金融における集落の役割	農林水産政策研究 6	2004. 3
鬼木俊次	移行経済における牧畜生産の趨勢と草地資 源の問題 モンゴル国の事例	資源制約下における世界主要国の農業問題(世界食料需給プロジェクト研究資料 4)	2004. 3
鬼木俊次・双 喜	中国内モンゴルおよびモンゴル国における 地域的過放牧 牧畜民の家計調査の結果から	農業経済研究 75(4)	2004. 3
11	中国・モンゴルの牧畜業の発展と砂漠化問題 ミクロ経済学的アプローチ	資源制約下における世界主要国の農業問題(世界食料需給プロジェクト研究資料 4)	2004. 3
嘉田良平	エキノコックス感染症に対する取り組み方(2) リスク学からの展望	日本小動物獣医学会平成 15 年度大 会報告集	2004. 2
II .	消費者保護へとシフトしたわが国の食品安 全政策	セキュリティー研究 7(2)	2004. 2
II .	食の国際化で問われる「食の豊かさ」	セキュリティー研究 7(3)	2004. 3
II .	食品の安全性を考える	(日本放送出版協会)	2004. 3

研究員名	表 題	発表誌,巻・号	発表年月
香月敏孝	アフリカ食糧問題の構図	資源制約下における世界主要国の農 業問題(世界食料需給プロジェクト 研究資料 4)	2004. 3
II	茨城県岩井市農業協同組合における生産出荷 動向	輸入が増加している野菜の国内産地 動向・流通実態 レタス (農畜産業振興機構)	2004. 3
香月敏孝・本間孝弥	レタスに関する価格安定制度の効果の推計	輸入が増加している野菜の国内産地 動向・流通実態 レタス (農畜産業振興機構)	2004. 3
勝又健太郎	諸外国における農産物セーフガード発動の 現状と課題	農林水産政策研究 6	2004. 3
河原昌一郎	中国の農業法制建設の動向	農林水産政策研究所レビュー 11	2004. 3
木下順子(共著)	酪農における乳量増加ホルモン剤(rbST) の生乳需要への影響	畜産の情報 (国内編)1	2004. 1
久保香代子	共同利用たい肥センターにおける運営状況 運営主体及び処理料金に着目して	循環利用政策と環境評価(循環利用 プロジェクト研究資料)	2004. 3
小島泰友	小麦生産に対する価格支持・転作助成・生産調整の相互作用に関する実証研究 小麦をめぐる政策効果のラグ構造に関する計量分析	2004年度日本農業経済学会大会報告要旨	2004. 3
合田素行	地域通貨と地域の安定・維持方策の理解に向けて	科研「ムラの崩壊」プロジェクト報 告書	2004. 3
"	農業由来の有機資源の循環利用に係る政策 の評価手法の開発	農林水産政策研究所レビュー 11	2004. 3
"	農村の景観をどのように再生するか	農村計画学会誌 22(4)	2004. 3
佐々木宏樹	滋賀県環境農業直接支払い政策に対する消費者の潜在意識とWTP 構造方程式モデルとCVMによる分析	2004 年度日本農業経済学会大会報告要旨	2004. 3
清水純一	ブラジル農業の発展と可能性 大豆におけるケーススタディー	資源制約下における世界主要国の農 業問題(世界食料需給プロジェクト 研究資料 4)	2004. 3
鈴村源太郎	茨城県における農業法人等による雇用研修 の実態	農業法人等における雇用研修の実態 に関する調査結果(全国新規就農相 談センター)	2003. 3
"	山間地域における多様な農林漁業体験活動 の展開	グリーン・ツーリズム体験ビジネス の展開(財団法人都市農山漁村交流 活性化機構)	2003. 3
"	そば打ち体験を中心とした地域おこしの実 践	グリーン・ツーリズム体験ビジネス の展開(財団法人都市農山漁村交流 活性化機構)	2003. 3
II	認定農業者の経営改善の取組み状況に関す るアンケート調査	平成 14 年度経営情報総合調査分析 事業・認定農業者経営実態分析調 査事業,農業経営基礎調査結果報 告書(農業会議所)	2003. 3
"	認定農業者の経営者意識と経営管理	2004 年度日本農業経営学会研究大会報告要旨 2	2003.10
"	市町村農業公社における水稲作業受委託の 収益性分析	2004 年度日本農業経済学会大会報 告要旨	2004. 3
須田文明	知識を通じた市場の構築と信頼 コンヴァンシオン経済学及びアクターネットワーク 理論の展開から	進化経済学論集 8	2004. 3
双 喜・鬼木俊次	環境制約下の中国食糧生産	資源制約下における世界主要国の農 業問題(世界食料需給プロジェクト 研究資料 4)	2004. 3
中道仁美	農業ルネッサンス	技術と普及 41(3)	2004. 3

研究員名	表題	発表誌 , 巻・号	発表年月
西尾 健	研究と行政	新農村技術新聞 1月15日	2004. 1
林岳	地域における第一次産業の持続可能な発展 に関する分析 北海道地方を事例として環 境・経済統合勘定の構築と推計	農林水産政策研究 6	2004. 3
林岳・久保香代子・ 合田素行	地域における有機性資源リサイクルシステムの定量的評価 宮崎県国富町を事例として	2004 年度日本農業経済学会大会報 告要旨	2004. 3
林 岳(共著)	マクロ環境勘定による農林業の多面的機能の総合評価に関する研究	小樽商科大学商学討究 54(4)	2004. 3
林岳	有機性資源循環利用システム評価における 勘定体系の適用	循環利用政策と環境評価(循環利用 プロジェクト研究資料)	2004. 3
藤栄 剛(共著)	全国アンケート調査結果からみた合鴨稲作 への取組の特徴	第 14 回全国合鴨フォーラムあおも リ大会資料	2004. 2
" (")	農協経営における営農指導事業の波及効果 の時系列分析	2004 年度日本農業経済学会大会報 告要旨	2004. 3
藤岡典夫 ほか	海外諸国の組換え農産物に関する政策と生 産・流通の動向	農林水産政策研究所レビュー 11	2004. 3
本間孝弥	レタスの輸入関数の推計	輸入が増加している野菜の国内産地 動向・流通実態 レタス (農 畜産業振興機構)	2004. 3
松久勉	Trend of Farmer Population and Farm Labor Force in Japan	Farming Japan 38(1)	2004. 1
水野正己	開発途上国における農業開発の動向と SRI 農法	資源制約下における世界主要国の農業問題(世界食料需給プロジェクト研究資料 4)	2004. 3
II .	農村開発における住民組織化 戦後日本の 生活改善運動を中心にして	援助と住民組織化(佐藤寛編著,ア ジア経済研究所)	2004. 3
矢部光保	選択実験における「選択外」オプション形式 の影響評価 食品における遺伝子組換え飼 料含有率と生産情報に対する消費者選好	農林水産政策研究所レビュー 11	2004. 3
"	農林業水産業における環境会計のフレーム ワークと政策評価	循環利用政策と環境評価(循環利用 プロジェクト研究資料)	2004. 3
"	ハウステンボスにおける修復人工環境の価値評価	循環利用政策と環境評価(循環利用 プロジェクト研究資料)	2004. 3
山本昭夫	農業由来有機質資源の循環利用政策の変遷	循環利用政策と環境評価(循環利 用プロジェクト研究資料)	2004. 3
吉井邦恒	カナダの新しい農業経営安定政策について	農林水産政策研究所レビュー 11	2004. 3
渡部岳陽	米政策改革下における助成金帰属問題 仙 台市の取り組みを事例に	2004 年度日本農業経済学会大会報 告要旨	2004. 3
П	中山間地域問題の現局面と直接支払制度の 位置づけ 公・共・私の視点から	農業問題研究 55	2004. 3

【口頭発表および講演】

講演者	演 題	講演会名	発表年月日
岡江 恭史	Tinh hinh tin dung o Bach Coc (バックコック村における金融の実態)	Hoi Thao Khoa Hoc Tong ket 10 nam nghien cuu Bach Coc va lang xa Viet Nam (1993-2003)(バックコック・ベトナム村落研究 10 年 (1993 ~ 2003年)総括研究会議,ハノイ大学)	2003. 8.20
"	Viec vay von ngan hang va lang xa Nam Dinh (銀行貸付とナムディン村落)	経済研究所研究会(経済研究所)	2003.10.17
香月敏孝	野菜産地の新たな展開方向	三豊の農業を支えるリーダー研修会 (香川県西讃農業改良普及センター)	2004. 1. 9
合田素行	The second step of understanding multifunctionality	The 4-th working Group of the ASEAN-Japan Project of multifunctionality of agriculture in ASEAN countries (ASEAN SECRETARIATE)	2004. 3.10
"	The Environmental Policy in Rural Japan	JICA 研修	2004. 3.24
中道仁美	男女に輝き、ともに前進する地域づくりに 向けて	平成 15 年度香取いきいき農業者フォーラム	2004. 2.16
西尾 健	リスクコミュニケーションとは	リスクコミュニケーション研修会 (農林水産消費技術センター本部)	2003. 7. 8
"	食品の安全性とリスクアナリシス	改良普及員技術向上研修 農村生活 (岩手県農業研究センター)	2003. 8.25
"	食品の安全性とリスクアナリシス	農政企画職員研修(農林水産省官房)	2003. 8.26
II .	食品の安全性とリスクコミュニケーション について	消費生活センター職員等ブロック研修(農林水産消費技術センタ・小樽センター)	2003. 9.24
"	農産物から重金属汚染を低減するための農業技術 カドミウム汚染リスクを減らす (総合討論コメンテーター)	第 23 回農業環境シンポジウム 第 1 回日韓共同研究合同国際シンポジ ウム(農業環境技術研究所)	2003.11.21
橋詰 登	地域活性化分析および農業構造予測の手法 と応用	平成 15 年度統計調査企画分析研修 (北陸農政局統計部)	2004. 2.27
11	90 年代における稲作構造変化の特徴と将来 展望	平成 15 年度関東地域稲作構造確立 検討会(関東農政局生産経営流通部)	2004. 3.10
藤栄 剛	新規参入者の就農行動と自立化に関する計 量分析	Theoretical Economics and Agriculture Conference (TEA 会)	2004. 3.29
矢部光保	消費者の食品に対する安心・安全意識と選 択行動	日本食品工業倶楽部講演会	2004. 2.26
吉井邦恒	アメリカ・カナダ等における経営安定対策に ついて	直接支払いに関する検討会(全国農 業会議所)	2004. 1.19
11	農業保険と WTO	農業保険に関する研究会(全国農業 共済協会)	2004. 1.23
II .	農業災害補償制度をめぐる変遷 収量保険 と収入保険	制度と制度改正に関するコンファレ ンス(千葉大学法経学部)	2004. 2. 8
II .	米に関する収量保険と収入保険 共済データに基づく試算結果	農業経営安定対策に関する研修会 (秋田県農業共済組合連合会)	2004. 2.25
渡部靖夫	遺伝子組換え作物・食品を巡る国際情勢	フード連合 (日本食品関連産業労働 組合総連合会)政策勉強会	2004. 1.20